

春の大学行事と山西の古城都市について

高橋あすみ

みなさんこんにちは、高橋あすみです！山西大学での留学生活も残り約2か月となり、専攻ごとに卒業イベントが開かれているのを頻繁に目にするようになりました。最近では帰国の時が近づいていることを実感し、ここを離れるのが惜しく、寂しい気持ちが拭えない日々を送っています。そんななかでも5月は、大学で運動会や文化祭、音楽学院の合唱会など、さまざまな学校行事が開催され、常に体が動いているような楽しみの多い1か月でした。

以前のレポートでもお伝えした通り、中国は学歴競争が厳しく、学生たちは大半の時間を学業に費やしています。その影響もあってか、日本よりも大学全体で学校行事を大々的に盛り上げる雰囲気強く感じられます。文化祭は日本の大学とあまり変わらず、食堂周辺や運動場に多くの出店が並びますが、普段、食堂の一角で働いているおじさんやおばさんも出店し、文化祭を在籍学生だけでなく学内に住む家族や大学関係者全員と一緒に盛り上げていたのがとても印象的でした。また、体育祭は二日間にわたって学院ごとのリレーやさまざまな演目が行われ、見ているだけの私にも日本の高校までの体育祭と同じくらいの熱気が伝わってきました。

今月に限らず、これまでのレポートでも綴ってきたこの9か月の山西大学での経験から、私はここがたくさんの学生の青春の詰まった場所なのだと強く感じました。その背景には、学歴主義による学業への没頭だけでなく、高校までの厳しいさまざまな制限の存在があり、大学に進学したことでこれまでの制約やできなかったことから解放される面があるのではないかと考えています。中国の高校までの学校には、部活動や文化祭がないだけでなく、勉強に打ち込む学生、特に高校生同士の恋愛は「早恋 (zǎo liàn)」と呼ばれ、厳しく禁止されている学校が多いという事実には、私は大きな衝撃を受けました。実際に中国人の友人からは、高校時代に恋人を作ったことが教師に知られ、一定期間の停学処分を受けたと聞きました。校内には早恋禁止の校則も定められており、異性と二人きりでの食事や会話、同じ傘に入ること、さらには一緒に魚に餌をやることまでも禁じるものがあるそうです。早恋禁止は日本とは大きく異なる規則で、その内容もかなり特徴的です。違反を繰り返した学生が退学処分になる例もあると聞きます。

恋愛という極めて個人的な事柄まで制限される点については、中国国内でも賛否両論があるようですが、大学に厳しい門限規則があるのと同様に、学校は生徒の安全を保護する義務を負う立場とされているため、学業への集中という目的に加え、生徒がトラブルに巻き込まれるのを防ぐ目的もあり、このような

厳格な規則や制限が行われているようです。山西大学に来て行事や学生生活の活気があふれ、たくさんの学生の青春が詰まっていると感じられたのは、こうした中国の大学生を取り巻く背景や学校の特徴と深く関連しているのかもしれませんが。

さて、5月は学校行事のほかに、大同（dà tóng）と平遥（píng yáo）という山西省の深い歴史が保存されている二つの古城都市へ旅行し、文化や歴史を学びました。次はその体験についてお話ししたいと思います。

この二つの都市は、どちらも世界文化遺産を有する山西省を代表する歴史都市です。平遥は平遥古城という西周から明・清の時代にかけて栄えた商業都市で有名です。中国初の銀行とされる「日升昌（rì shēng chāng）」が創業された場所でもあり、多くの商人が活動した都市と言えます。古城の近くには、平遥商人がロシア革命の影響を受けた史実を題材とした、歩いて鑑賞する没入型実景劇『又見平遥』を上演する劇場もあります。私は留学前と先月の2回、古城と劇場を訪れましたが、実際に古城を歩き建造物から歴史を学ぶだけでなく、劇の壮大な演出やパフォーマンスからも深い歴史を感じ取ることができます。特に、壁からこの世を去ったはずの人々の魂が次々と現れたり、大きな水桶に旅立つ男性たちが水飛沫をあげながら身を清めたり、女性が男性の腕に噛みつく場面などは、観る者を一気に物語の世界に引き込む味わい深い魅力にあふれています。史実に基づきながらもフィクションが織り交ぜられており、娯楽性も兼ね備えています。一度見たら忘れられなくなるような、ぜひおすすめしたい体験です！

二つ目の大同は、北魏の時代の都で、現在でも太原に次ぐ山西省第二の都市です。日本の歴史の教科書にも載っている中国三大石窟の一つである雲崗石窟や、断崖に建つ悬空寺（xuán kōng sì）は、日本のテレビでも特集されたことがあり、日本人にも一定の知名度がある都市だと思います。日本人観光客も増加傾向にあるらしく、私が訪れた際にも他の日本人旅行者を見かけましたし、日本語の案内板が設置され、日本語の解説資料も販売されていました。

特に雲崗石窟は、東西約1kmの断崖に彫られた252か所の窟に5万體以上の仏像が現存する、最大の見どころと言える観光地です。シルクロードを経由したギリシャ文化の流入によるガンダーラ美術の影響で、仏像の彫りが深く鼻が高い西洋風の顔立ちからは、文化の交流と発展の長い道筋をたどることができ、とても興味深い場所でした。なかでも第20窟は有名で、第16-20窟の大石窟には「皇帝こそが仏である」という当時の価値観やその思いの強さが表れていました。

私が大同を訪れたのは祝日の連休期間で、中国各地から多くの方が訪れていました。大同が北魏の都であるという知識はもともと持っていたものの、実際に訪れて初めて、中国の一時代を支えた古都の風格を体感することができました。大同市中心部の華やかな大同古城だけでなく、旅行や建築に詳しい人々の間でパリのエッフェル塔やイタリアのピサの斜塔と並ぶ世界三大奇塔の一つに数えられる应县木塔 (yīng xiàn mù tǎ) や、中国五岳の一つである北岳・恒山など、タクシーで数時間かかる広い範囲にいくつもの名所が保存されており、当時の繁栄の広がりや推測する大きな手がかりとなりました。

とくに应县木塔は、世界最古かつ最高の木造の塔でありながら、釘を一本も使わない斗拱 (とぎょう) というユニークな建築技法を用いていることで有名です。そのほかにも、使用する柱の数を減らして建物内の空間を広く見せる減柱法や、悬空寺の梁を横向きに挿して建物全体を支える建築技術など、当時発達した独特な建築技術が 1500 年以上の時を経た今もなお建物を支えていることは、非常に衝撃的な発見でした。このような古代建築に関する発見は、文化と同じように知識をもつだけでなく現地で実際に目にして学習したり実際の空間や建築の威厳を五感で感じる事が重要な鍵となっていると思うので、今回現地で実際にたくさんの建築に触れることができたのは、大きな収穫になったと感じています。

今月のレポートも最後までお読みいただき、ありがとうございます！今月は山西大学の5月のイベントと、山西の深い歴史を持つ二つの都市を紹介しました。来月のレポートでは、卒業に関する式典やクラスで行うイベントの様子をお届けしたいと思います。それでは、また来月のレポートでお会いしましょう！



合唱祭(上段)、文化祭(中段)、体育祭(下段)の様子。特に文化祭は、多くの人
が集まって大盛況な様子が見てとれます。

拒绝“早恋”承诺书

十七八岁的高中生，花一般的年纪，正处于为理想拼搏奋斗的青春年华。国家的光明未来要靠我们去创造，民族的复兴使命将由我们来担当。

但在我们成长的道路上，“早恋”这颗绊脚石总会阻碍我们前进的步伐。沉溺于“早恋”不仅会影响我们的学习成绩和情绪，更会危害我们整个年级、学校的积极健康、向善向上的风气，给他人的学习和生活造成不良的影响。同时，这也是一种违反校规校纪的严重违纪行为，不符合我们中学生的日常行为规范。

为了遇见更好的人，预防“早恋”行为的发生，本人在此承诺在校就读期间不与异性关系过密，并做到以下要求：

- (1) 不单独在食堂与异性同桌吃饭；
- (2) 不单独在教室与异性同学聊天；
- (3) 不单独在操场与异性散步；
- (4) 不单独与异性一起走夜路；
- (5) 不单独与异性在昏暗的角落聊天；
- (6) 不单独与异性一起撑伞；
- (7) 不单独与异性在池塘边钓鱼；
- (8) 不与异性发生牵手、拥抱等亲密行为；
- (9) 放学后不与异性单独出行。

高三是备战高考的重要阶段，是人生关键的节点；高考是实现理想的重要途径，是十年寒窗苦练而磨一剑的战场。我们的目标是在高考中金榜题名。拒绝“早恋”，做一名自尊自爱、积极健康、向上向善的宾中学生，从我做起！

生徒に渡される早恋の規則書類。基本的に「異性と2人きりで〇〇してはいけない」という規則が並びます。



平遙の特産品である平遙牛肉(上段)、夜の平遙古城の様子(中段)、古城内の偉人の像(下段)。商人の街であったため、たくさんの知識をもった教育者や偉人が輩出されています。



大同の雲崗石窟(左上)、懸空寺(右上)、应县木塔(左下)、恒山(右下)